

【大切な 生き方】

親孝行 お父さんお母さんを喜ばす
両親から、天から与えられた尊い命。尊い生き方がある。
採用基準 4月初任給で両親にプレゼント

※両親に並んでもらい、その前に座って（畳は正座して）報告、お礼を言う。

「社会人になって初めて給料をいただきました。（もらった感想を述べる）
社会人として一人前になって、もっとよい仕事ができるよう、これからも頑張ります。」「私がここまでこられたのも、お父さん、お母さんのおかげです。感謝の気持ちを込めてプレゼントします。（プレゼントは両手で渡す）今まで育ててくれてありがとうございます。（両手をつけて心を込めて礼をする）」



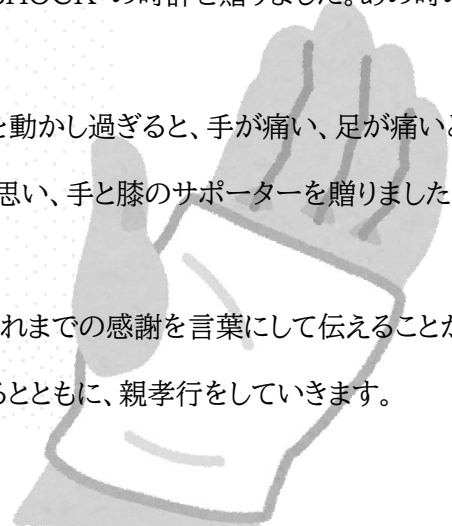
■ 2020年4月入社 初任給レポート ■

あの時の G-SHOCK

私が小学生の頃、父が気に入っていた G-SHOCK の時計がとてもカッコよく見えた私は、無断で手につけて遊びに行きました。遊び終えて帰宅すると、時計をなくしてしまったことに気づき、探しに行きましたが、見つけることはできませんでした。その時から、父に対して申し訳ない気持ちをずっと抱えていました。あの時の残念そうな顔が忘れられず、G-SHOCK の時計を贈りました。あの時の時計よりもカッコいいと喜んで頂けました。

母はここ数年、リウマチという病気と闘っています。手や足を動かし過ぎると、手が痛い、足が痛いと言っています。少しでも痛みを和らげることができないかと思い、手と膝のサポーターを贈りました。付けてみた母はすごく楽になったと喜んで頂きました。

両親に喜んで頂き、私も嬉しい気持ちになりました。また、これまでの感謝を言葉にして伝えることができ、少し照れくさかったのですが、これからも感謝を伝えるとともに、親孝行をしていきます。






父からのエール

以前から初任給には両親の大好きな蟹と一緒に食べに行くという事を決めていたのですが、新型コロナウイルスの影響により営業しておらず、横浜の名産品である崎陽軒の焼売と父の好きなビールを買って帰りました。帰った頃には16時頃、父は庭の掃除、母は洗濯物を取り込んでいました。まずは母にお土産を渡し、父の庭の掃除を手伝いました。17時半頃になり母がいつものように料理をしている中、父は私にこれからの仕事のこと、これまでの父のことを熱く語ってくれました。学生の頃に聞いた話だったのですが、初任給を頂き社会人としての自覚が芽生えた今、その話は父からのエールのように聞こえました。

母の料理が完成し、父に買ってきたビールも渡し、3人でご飯を食べました。ご飯が終わった19時半頃、私は玄関で照れくさいながらも2人に「今までありがとうございました。」と頭を下げました。その時私は感謝の気持ちと寂しい気持ちで泣きそうでしたが何とか堪え、「じゃあ、また」と家を出ました。家の門を出て家が見えなくなる曲がり角で振り返ると母が見えなくなるまで家の前で僕を見送ってくれました。次、実家に帰る時は一緒に蟹を食べに行きます。



美味しいよ、よく頑張ったね

世界中がこのような大変な状況にも関わらず、4月に初任給を頂けたこと山下社長には本当に感謝しております。有難うございました。

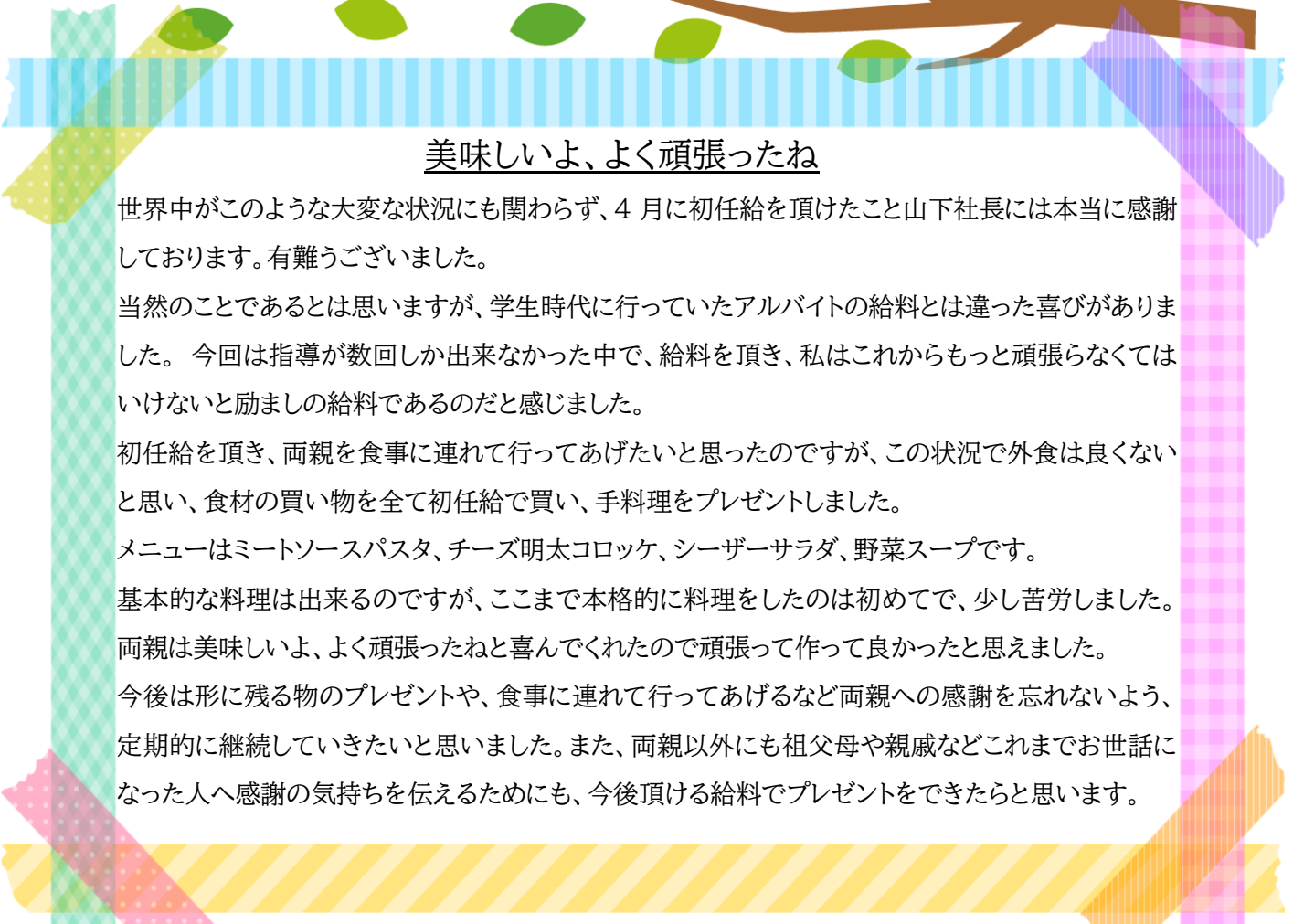
当然のことであるとは思いますが、学生時代に行っていたアルバイトの給料とは違った喜びがありました。今回は指導が数回しか出来なかった中で、給料を頂き、私はこれからもっと頑張らなくては行けないと励ましの給料であるのだと感じました。

初任給を頂き、両親を食事に連れて行ってあげたいと思ったのですが、この状況で外食は良くないと思い、食材の買い物全てを初任給で買い、手料理をプレゼントしました。

メニューはミートソースパスタ、チーズ明太コロッケ、シーザーサラダ、野菜スープです。

基本的な料理は出来るのですが、ここまで本格的に料理をしたのは初めてで、少し苦労しました。両親は美味しいよ、よく頑張ったねと喜んでくれたので頑張って作って良かったと思えました。

今後は形に残る物のプレゼントや、食事に連れて行ってあげるなど両親への感謝を忘れないよう、定期的に継続していきたいと思いました。また、両親以外にも祖父母や親戚などこれまでお世話になった人へ感謝の気持ちを伝えるためにも、今後頂ける給料でプレゼントをできたらと思います。



気づくのが遅い、たくさん恩返ししてね

現在一人暮らしをしているため、給料日はテレビ電話で両親と会話をしました。まず今日、初給料をもらったことを伝えました。コロナの影響で仕事がなかなかできなかったのですが、コスモという素晴らしい会社に就職できたことで減給もなかった事も話しました。この情勢の中、しっかりと給料がもらえることへの感謝を話しつつ、両親が働いている会社のことも伺いました。母の勤めている会社は、営業が主な仕事のため給料は少し減ると話していました。母からもコスモに感謝しないとイケないよと話してくれました。

そして、中学・高校・大学とサッカーをしてきた私は、今までどれだけのお金と時間を両親に使ってもらっていたのか改めて気づくことができ、感謝の気持ちを伝えました。すると、笑いながら気づくのが遅い、たくさん恩返ししてねと言ってくれました。これを気にたくさん親孝行をしたいと私自身思いました。

ゴールデンウィークに一日だけ実家に帰りました。その時に、用意していたプレゼントと改めて直接感謝の言葉を伝えました。プレゼントは、母と父両方にプレゼントし、お互いが使えるゴルフボールとストレッチポールをプレゼントしました。母は特に喜んでいて、買おうかどうか迷っていたものだったらしく、エスパーなの？ととても嬉しそうにしていました。

今まで両親に対してプレゼントを渡したことがあまりありません。しかし、こんなにも喜んでもらえて、母の日や父の日、誕生日と感謝の言葉やプレゼントをしていきたいととても感じました。これからたくさん親孝行をしていきます。

正直恥ずかしくて…本当に良かった

私は今まで恥ずかしながら親孝行と言う事は一度もしてきませんでした。まさか、初任給で親にプレゼントを渡して、感謝の気持ちを伝えることになることは想像していなかったです。改めてこのような事をするのは性に合っておらず、正直行く前は恥ずかしくて、やりたくないと言う気持ちでした。

当日、緊張してどのように渡そうかと何度も迷いました。家族皆で揃う食事の時間に渡す事にしました。親にプレゼントを渡してみると、とても驚いた顔で喜んでくれました。

両親に、会社の話をしました。人を喜ばすこと、親孝行する事をとても意識している会社であることを伝えました。両親からは、「私が選んだわけではないけど、良い選択をできたね、絶対いい会社だから、安心だね」と話してくれました。親を安心させることができるととても嬉しかったです。

その後お父さんとお母さんで私の小さい頃の話、いつもより仲良さそうに話していました。両親の反応をみて、今回初任給でプレゼントができ、感謝の言葉も伝える事ができ、本当に良かったと心の底から思いました。両親よりいただいた言葉や反応を見て、改めて仕事頑張らないといけないなという気持ちになりました。改めて育ててもらった事を感謝するととても良い機会になりました。